

## 平成 28 年度 地域支え合いづくり講演会・学習会

### 「地域の支え合いを考えるつどい」スケジュール

第  
1  
回

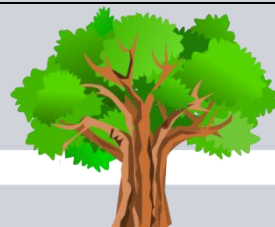
- 日時：平成28年8月9日（火）昼の部 13：30～／夜の部 18：30～
- 内容：地域支え合いづくりとは？
- 場所：宮田村老人福祉センター2階 大会議室
- 講師：高橋誠一氏（東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授）  
池田昌弘氏（NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長）

終了しました

第  
2  
回

- 日時：平成28年10月1日（土）13：30～15：30
- 内容：地域のお宝さがし①
- 場所：宮田村老人福祉センター2階 大会議室
- 講師：志水田鶴子氏（仙台白百合女子大学 人間学部 准教授）

終了しました



第  
3  
回

- 日時：平成28年12月3日（土）13：30～15：30
- 内容：地域のお宝さがし②
- 場所：宮田村老人福祉センター2階 大会議室
- 講師：志水田鶴子氏（仙台白百合女子大学 人間学部 准教授）

終了しました



第  
4  
回

- 日時：平成29年2月18日（土）13：30～16：00
- 内容：地域のお宝大発表会
- 場所：宮田村老人福祉センター2階 大会議室
- 講師：平野隆之氏（日本福祉大学 副学長）  
酒井 保氏（ご近所福祉クリエイション）  
池田昌弘氏（NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長）

平成 28 年度 地域支え合いづくり 講演会・学習会

# 地域の支え合いを考えるつどい

## ～いつまでも安心して暮らせる地域づくりへ～

いよいよ最終回となりました。今回はこれまで話し合ってきた『地域のお宝』について、宮田村の地域のお宝である、実際に活動している方々のお話を伺いながら、支え合いの考え方やこれからの地域づくりについて考えます。初めて参加される方も大歓迎です！ぜひご参加ください。

第 4 回

## 地域のお宝大発表会

◆日時：平成 29 年 2 月 18 日（土）

13：30～16：00 （13：00開場）

◆講師：平野 隆之氏（日本福祉大学 副学長）

酒井 保氏（ご近所福祉クリエイション）

池田 昌弘氏（NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長）

◆発表者：宮田村で活動されている団体・グループの方々

◆会場：宮田村老人福祉センター2階大会議室（宮田村 7027-1）

◆参加方法：参加費は無料。直接会場へお越しください。

※託児を希望される方は裏面連絡先まで事前にご連絡ください！

【主催】宮田村・宮田村社会福祉協議会

【共催】特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

◎全4回（お好きな回のみでの参加も可）

◎参加費無料・事前申込み不要

<問合せ先>

社会福祉法人 宮田村社会福祉協議会（担当：黒沢）

〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村6838-1

TEL：0265-85-5010 FAX：0265-85-5011

MAIL：syakyo@vill.miyada.nagano.jp

# 「地域の支え合いづくりって何？」

地域の支え合いづくりとは、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けるために、公的なサービスの利用だけでなく、困ったときに身近な家族だけでなく、ご近所や仲間同士でも助け、助けられる、お互い様の関係づくりを目指しています。

地域の支え合いと聞くと、とても難しいことと思ってしまうかもしれませんが、そんなに難しいことはありません。誰でも、趣味の仲間、伝統・文化・地域の活動、友人やご近所の人など、人とつながりがあります。人と人とのつながりは自らが健康で暮らしつつられる為の「閉じこもり」の予防や生きがいの活動につながっていますし、人との交流により自然な見守りやお互いの助け合いにも発展するものと考えられています。

例えばこんなことです。

○閉じこもり予防＝「今日は〇〇〇の集まりがあるから、出かけるよ。」  
○見守り＝「あれ～今日の集まりに〇〇〇さんが、居ないね～ 大丈夫かしら？」  
「帰りにちょっと様子を見に行ってみるよ。」  
○お互いの助け合い＝「私、電球の取り換えができなくて困ってるんだけど～」  
「だったら私がやってあげるよ。遠慮しなくていいよ。」

こんな人のつながりが理想です。決して無理なことではないですね。

いきなり全部を始めることは難しいですが、まずは今できていることやできることを確認し、できることから始めてみましょう。

## 『身の回りにある人と人のつながりを見つける』

村では、社会福祉協議会と連携して「地域の支え合いづくり」を平成27年度から行っています。地域の支え合いは、これからつくるものばかりでなく、既に皆さんの周りにも存在するものです。

今年度、全4回シリーズで行っている地域の支え合いを考えるつどい第2回『地域のお宝探し①』（10月1日開催）では、地区ごとに分かれて、地区にある伝統・文化の他に、人と人とのつながりを出し合いました。参加者が増えれば、もっとたくさんの人と人とのつながりを見つけることができますし、他者に気づかれないつながりもあるはずです。

具体的なつながりとして、伝統や文化で言えば、地区のお祭り、どんど焼き、地区の役員会、

地区の行事、新年会・忘年会・冠婚葬祭などが挙げられますし、かしこまったものでなくても、趣味で集まっている仲間、スーパーに買い物に行き、店先で知り合いと話すことや、近所の人と散歩や犬の散歩に出かけるなどが挙げられます。参加する人数の大小や、役員がいるような組織から、仲間内のあつまりまで様々です。これらの集まりは、どれも大切です。小さい集まりであっても、大きな集まりでもその価値を比較することはできませんし、1つの機会に違いはありません。これらの人と人との様々なつながりや支え合いによって、見守ったり・見守られながら安心して暮らすことができます。

## 『地域の支え合いは、地域に暮らす人みんな考えていきましょう』

地域の支え合いづくりは、高齢者だけのことではなく、地域で支え合うということでは、子どもや障がいのある方なども含め、地域に暮らすすべての人に関わることです。

村では地域住民が主体となって地域の人とのつながりの確認し、地域の課題を解決するための話し合いの場を多く作っていきたいと考えています。この話し合いの場を『協議体』とも呼びます。その理由は行政が提供する公的なサービスには、対象者や回数等に制限がありますし、限界があります。公的サービスだけでなく、地域の支え合いによって解決できる課題をみんなで話し合う中で、有効な方法を考え、課題を解決する仕組みづくりを目指しています。地域での話し合いは様々な立場の人が参加し、参加者が多いほど良い解決策が生まれます。地域の課題を他人ごとと考えず、みんなで考える必要があります。もちろん、1回の話し合いだけでなく、何度も繰り返し話し合うことで新たな課題に気づくこともあれば、お互いに情報を共有することで災害時など、いざという時に助け合うことも可能になります。

地域の支え合いによって課題を解決し、地域でお互いに支え合いながら、安心して暮せるための仕組みづくりをみんなで考えましょう。

こんにちは。宮田村社会福祉協議会で地域の支え合いづくりを担当している生活支援コーディネーターの黒沢です。  
生活支援コーディネーターは地域にある人のつながり（地域のお宝）を見つけ、たくさんの人に分かりやすく伝えていく役割を担っています。  
第4回つどい（2月18日）はこれまで話し合ってきた宮田村の地域のお宝を紹介します。ぜひご参加下さい。また、これから地域の活動などにお邪魔させていただくことがあります。地域の支え合い活動、おもしろい活動や自慢の活動などを是非教えてください。よろしくお願いします。

